



Vol. 19
July
August
2010

「シリーズあれから1年」



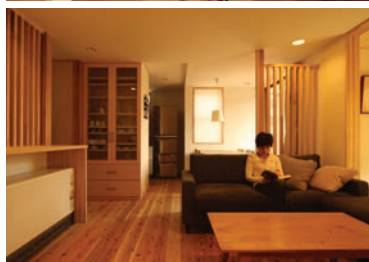
木のすまい仕様の家

「早く帰りたくなる家」

だったそうです。多くの工務店や展示場を回る中、木のすまいに決めた最大の理由は、地元の木にこだわった家づくりに共感したこと、最初に対応した担当者の印象が強かったと奥さま。当時は振り返り「他の会社はデザインや納まりの話が多い中、機能的な話を包み隠さず正直に話していたいたんで、返って信頼が持てたんです」（奥さま）。家に関してご主人は、建ててから「こうしておけば良かった」と思うことがないように、以前に住んでいた借家の不便などところを新築では全て活かしましたと話す。「おかげでこの家にはとても満足しています」とご主人。

「三宮にも近いためこれまでは休日に出かけることも多かったんですが、今の家に越してからは家に居ることが多くなりました。食事に出かけても早く家に帰りたくなるんです（笑）」と最後にお二人が微笑みながら話して下さいました。

誰もが住みたいと憧れる、山と海の自然に恵まれた神戸。そんな神戸の中でも閑静な住宅地が多い、阪急沿線にあるI様をご紹介いたします。家づくりを真剣に考えはじめたのが2年半前と話すI様。大手ゼネコンにお勤めのご主人と大学で環境経済を教える奥様。忙しいお二人が家づくりでこだわった1つが、互いの居場所をつくること。平日、帰りの遅いご主人は休日ゆっくりと過ごすためのたたみの間を。家に持ち帰って仕事をするご主人の多い奥様はこもれる仕事部屋を。そんなお互いのスペースを確保しつつ、暖かく過ごしやすい家を求める中で出会ったのがひょうご木のすまい協議会のメンバー



夏を過ごしやすくする生活の知恵。

日本の夏は高温多湿。どうしても冷房に頼りすぎてしまいがちです。しかし、健康面からも、省エネや環境の面からも、冷房の使いすぎは控えたいものです。

まだ冷房の無かった時代、私たち日本人の誰もが、窓を開けて風を通したり、打ち水や浴衣で涼しんだり、夏の暮らしを工夫してきました。窓の外に朝顔などのツル性の植物を植えて壁面を覆う「緑のカーテン」や家の周りに落葉樹を植えて夏の日射を防いだり、というのもそれらの工夫の一つです。

みなさんも、機械設備に頼る前に見直してみたい、夏の暑さを軽減の手法をぜひ、お試し下さい。



ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介



【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資がさらに使い易くなりました。

従来の融資条件に加え、環境配慮型住宅であれば、融資限度額が拡充されます。

- 新築・増改築
最高融資額：2,700万円（返済期間25年以内）
- リフォーム
最高融資額：900万円（返済期間10年以内）

※いずれも融資金利は平成22年度上半期1.7%固定。環境配慮型住宅の条件は下記のホームページをご覧ください。

URL : <http://web.pref.hyogo.jp/>

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を作る『家づくりセミナー』（第9期）

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

・開催日

- 【第1回】H22年 8月28日（土）
- 【第2回】H22年 9月25日（土）
- 【第3回】H22年10月30日（土）
- 【第4回】H22年11月27日（土）
- 【第5回】H22年12月18日（土）

- ・時間 13:00～15:30
- ・費用 5,000円（5回分）
- ・場所 神戸 兵庫県民会館

※詳しくはお問合せ下さい。



小冊子 「キノコイェノコ ひょうご2010」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコイェノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。